

岡山県看護協会様から がん予防活動へ寄付金を頂きました!

10月16日(月)、岡山県看護協会の宮田明美会長より146の施設・個人から集められたがん予防活動に対しての寄付金、「2,038,570円」を贈呈していただきました。

看護協会様からは、毎年多くの寄付金を頂いております。この寄付金は、当財団が行っております、がんに関する研究助成や正しい知識の普及啓発活動に充てさせていただいております。

がん予防や研究で県看護協会寄付 県健康づくり財団に203万円

シェア ツイート

岡山県看護協会(岡山市北区兵団)は16日、がんの予防や研究に役立ててもらおうと、県健康づくり財団(同平田)に203万8570円を贈った。

寄付金は協会の会員らから集めた。贈呈式が協会であり、宮田明美会長が財団の大森弘介専務理事に目録を手渡した。宮田会長は「がんで苦しむ人が減ってほしい」と説明。大森専務理事は「がんの有効な早期の発見、治療につながるような活動に使っていききたい」と応じた。

財団はがん征圧県大会の開催、がん研究の助成などに寄付金を充てる。

県看護協会は1984年から毎年、財団に寄付している。

(2017年10月16日 21時43分 更新)

山陽新聞デジタル および 平成29年10月17日付 山陽新聞朝刊 掲載



寄付金の目録を手渡す県看護協会の宮田会長(右)

岡山県看護協会の皆様、ご協力ありがとうございます。